

防災だより

その49

防災専門官 野田^{のだ} 秀敏^{ひでとし}

台風対策は万全に！

9月は大型台風の襲来期に入ります。

年々、台風は大型化しています。特に昨年9月の台風15号(房総半島台風)は、千葉県を中心に猛威を振るい、同年10月の台風19号(東日本台風)は、東海・関東甲信・北陸・東北地域の広範囲にかけて、平成30年の西日本豪雨災害を上回る甚大な被害を及ぼしました。

「天災は忘れたころに来る」時代から「天災は毎年やって来る」へ変化しています。

台風による豪雨や強風の危険が迫る前の早めの判断・行動が生死を分けます。台風への対策・準備をしっかりとしましょう。

台風が接近してきたら

台風が急に迫った場合は、指定された避難場所などへの

避難(水平避難)だけでなく、近隣の安全な高い建物への避難(垂直避難)、また屋内のより安全な場所への避難も考えましょう。

自宅に居る場合

左記の状況では特に注意が必要です。

● 膝上まで浸水している。(50センチ以上)

● 浸水は20センチ程度だが、外を流れる水流が速い。

● 坂があり、水の流れが激流になっている。

● 浸水は10センチ程度だが、用水路位置が不明で転落の恐れがある。

アドバイス

① 近くの安全と思われる建物(最上階が浸水しない、川沿い以外の建物など)に避難しましょう。

② 外出が危険な場合は、建物内より安全と思われる部屋(上層階の部屋で山側から反対の部屋)に避難しましょう。

外出先の場合

● 屋外に居る
強風や飛来物に注意し、倒

壊の危険のない建物の2階以上に避難しましょう。

● 建物の中に居る

むやみに外に出ず、2階以上に避難し、気象情報に注意しましょう。

● 川・水辺に居る

川や水辺から離れ、速やかに高台へ避難しましょう。車に乗っている場合、浸水でエンジンが停止したときは無理に再始動せず、車をその場に置いて逃げましょう。

台風から身を守るには

① 台風情報の入手

● テレビ・ラジオなどで最新の台風情報入手しましょう。

● 市が発信する災害情報や避難に関する情報(警戒レベル3避難準備・高齢者等避難開始)や「警戒レベル4避難勧告・避難指示(緊急)」に注意しましょう。

② 早め早めの行動

● テレビの台風情報だけでなく、自宅周辺の雨の降り方、川の水位や道路の浸水状況などに注意し、非常用持出品を持ち避難準備を始める

など、早めの行動をとりましょう。

③ 避難の呼びかけに注意

● 台風が接近する時、市ホームページや県・市の情報配信サービスで、災害情報や避難情報を通知します。

また消防団や広報車の避難指示の呼び掛けを聞いたら、直ちに避難しましょう。

● 夜間・暴風雨時は、見通しが悪く外出が危険な場合があります。状況に応じ、自宅2階や近隣マンションの2階以上の安全な建物に避難しましょう。

④ 隣近所で声かけ避難

● 避難する時は、隣近所で声を掛け合い、一緒に同行避難をしましょう。単独行動は危険です。

⑤ 避難所では

● 新型コロナウイルス感染症対策が必要です。マスク・消毒液・体温計が不足しているためできるだけ自ら携行し、3密を避けるため安全な親戚・知人宅に避難する分散避難も考えましょう。

V-netに登録しましょう！

【災害情報配信サービス(V-net)とは】

本市から災害時の情報を固定電話、ファクス、携帯電話に直接配信するサービスです。自然災害の大雨・台風・地震時などに、避難情報や災害情報などを配信します。

【登録方法】

登録申請書を市役所3階防災安全課へ提出してください。申請書は窓口または市のホームページにて取得できます。

